

一般社団法人日本カバディ協会中長期基本計画 2021-2023（案）

令和3年3月

一般社団法人日本カバディ協会
会長 冲永 佳史

【本協会の理念】

我が国におけるカバディ競技を統括し、代表する団体としてカバディの普及および振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

【中長期ビジョン、ミッション】

（1）強化・育成…「国際大会でのメダル獲得」

指導者の養成、選手強化の計画的・継続的な推進を行い、国際大会で確実にメダルを獲得できるチームを作る。

（2）普及…「カバディ人口の全国的な拡大」

カバディ人口を全国に広めるため、競技への理解を深める講習会やイベント等を行い、カバディの魅力や価値を伝えていく。

（3）マーケティング…「協賛金・自己資金の確保」

各方面からのスポンサーの確保と自己資金の確保のための体制づくりを行う。

（4）ガバナンス…「各種規程や団体運営組織体制の整備」

ガバナンス・コンプライアンス強化のため、各種規程や団体運営組織体制を整備していく。

（5）人材の採用及び育成に関する計画…「理事・審判等の組織運営体制の整備」

新たな人材の活用や育成を行い、各種規程等の整備を行い、適切な組織運営体制を強化していく。

（6）財務の健全性確保…「財務の健全性の確保」

各事業遂行のための資金を確保し、会計の適正処理を行い、財務の健全性の確保を行う。

1. 強化・育成

・現状分析

2010年広州アジア競技大会で男子代表が、2012年ワールドカップで女子代表が銅メダルを獲得してからは、主な国際大会でメダルは獲得できなかった。しかし2019年に男子代表が、Chungju World Martial Arts Mastershipにおいて銅メダルを獲得。若手の成長も大きく、今後に期待が持てる。

しかし 2020 年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、3 月の台湾遠征を最後に海外での試合を行えず、日常の練習も満足に行えていない。

- ・ 達成目標

アジア競技大会（2022 年）、アジア選手権大会、ワールドカップ（未定）においてのメダル獲得。その他の大会においても確実にメダルを獲得する。

- ・ 課題解決のための戦略・計画

競技人口の少なさから、日本代表の質がまだ低い。練習場所の確保や仕事との両立も困難な選手が多い。また、国際大会の数も少なく、十分な試合経験を積めない。そのため、全日本選手権他、国内で年間 10 回程の大会開催を行う。これにより、新たなスタッフや選手の発掘、大会を通じた試合経験を積むことが期待できる。併せて、大韓民国やチャイニーズ・タイペイ等、近隣への強化遠征・合宿を行い海外との対戦機会を確保し、代表全体のチームカアッパに繋げる。

- ・ 計画・実施・検証・見直しのプロセス

4 年に一度のアジア競技大会（2022 年）でのメダル獲得を目標に、計画と状況を再分析し、必要に応じて計画を修正していく。

2. 普及

- ・ 現状分析

会員の数はまだまだ少ないが、2013 年に比べ、現在 1.8 倍ほどに増加。イベントや体験会の機会を増やしたこと、また、メディアに取り上げられる数も増えてきていることが成果につながっていると考える。

- ・ 達成目標

2023 年までに年会員数を、2020 年度の 1.5 倍に増やす。また、関東地方近隣だけでなく、全国的な人口拡大を目指す。

- ・ 課題解決のための戦略・計画

競技人口は関東地方がほとんどを占めており、地方にチームや指導者が少ない。そのため、普及指導員や審判員の育成を行い、公認指導員制度を確立する。また、動画配信などを利用し、離れていても実際に教育できるシステムを構築する。

大学生・社会人中心の会員から、高校生・中学生・小学生の人口を増やすため、各年代での大会開催を視野に入れ、学校等に講習会を行っていく。

- ・ 計画・実施・検証・見直しのプロセス

年度ごとに登録会員者数を年齢等細かく把握し、計画と状況を再分析し、必要に応じて計画を修正していく。

3. マーケティング

- ・現状分析

収入面は、数社のオフィシャルパートナー・会員による会費・寄附金の募集・JSC 助成金等を活用しているが、十分とは言えない。

- ・達成目標

各位事業の財政基盤を安定させるため、スポンサーの確保を目指す。カバディはアジア特有、特にインド発祥のスポーツのため、インド進出企業を中心に開拓する。また、自己財源の確保のため、会費や登録制度の見直し等を行い、安定的な収入を得られる基盤を作る。

- ・課題解決のための戦略・計画

まずは支援スポンサーの確保が十分にできていないことが一番の問題と考える。カバディ競技の認知度を広めるため、メディア・マスコミへのより積極的な情報発信、また国内外の大会数を増やすなどし、その確保を図る。また、自己財源の確保のため、会費や登録制度の見直し等を行い、安定的な収入を得られる基盤を作る。

- ・計画・実施・検証・見直しのプロセス

決算時に計画と状況を再分析し、必要に応じて計画を修正していく。

4. ガバナンス

- ・現状分析

ガバナンス・コンプライアンスについては、倫理規程、アンチ・ドーピング規程などの整備により、今まで問題は発生していない。しかし、必要な規程が揃っていないため、今後各種規程の整備、専門的な人材との契約が必要である。

- ・達成目標

ガバナンス・コンプライアンス強化のため各種規程や運営組織を整備、人材の採用を行う。

- ・課題解決のための戦略・計画

ガバナンス・コンプライアンスに係る規程の整備を、遅くとも 2023 年度までに順を追って行う。また、2021 年度までに、知見を有する弁護士との契約を行い、日常的なサポートを受けられる体制を構築する。

- ・計画・実施・検証・見直しのプロセス

スポーツ団体ガバナンスコード審査に沿って、計画と状況を再分析し、必要に応じて計画を修正していく。

5. 人材の採用及び育成に関する計画

- ・現状分析

事務局運営については、現状1名で行っている。しかし役職員や委員会等から幅広い意見を受けられる体制を作っている。

役員については、まだ規程の整備が不十分である。また、外部理事は30%で目標を達成しているが、女性理事の割合は15%である。

会計処理については、会計事務所のチェック機能があるが、法務の専門家については未整備である。

- ・ 達成目標

人材の採用及び育成に関する各種規程や運営組織を整備、人材の採用を行う。

- ・ 課題解決のための戦略・計画

2023年度までに理事規程等の整備を行い、2024年度の役員改選時には女性理事の割合増加(15%→40%)、外部理事については少なくとも現状維持(30%)を達成する。会計処理については、会計事務所のチェック機能を引き続き行い、法務関係については、2021年度までに、知見を有する弁護士と契約し、日常的なサポートを受けられる体制を構築する。

- ・ 計画・実施・検証・見直しのプロセス

年度ごとに計画と状況を再分析し、2年ごとの改選時(次回は2022年度)に合わせ、必要に応じて計画を修正していく。

6. 財務の健全性確保に関する計画

- ・ 現状分析

財務は、数社のオフィシャルパートナー・会員による会費・寄附金の募集等で、十分とは言えない。また、海外遠征などにはJSC助成金等を活用しているが、こちらも十分とは言えない。

- ・ 達成目標

十分な資金を確保し、長期的に各事業目標を遂行できる基盤を構築する。それに伴い、会計の適正処理を行い財務の健全性の確保を行う。

- ・ 課題解決のための戦略・計画

スポンサーに関しては、イベントや大会開催数を増やすことで広報活動を行い、開拓していく。自己資金は現状会費収入のみであるが、体験会やイベントを実施し、新規会員の開拓・収入を増やすとともに、カバディの普及にもつなげていく。

- ・ 計画・実施・検証・見直しのプロセス

決算時に計画と状況を再分析し、収支予算を策定する。必要に応じて計画を修正し、修正予算を策定する。

一般社団法人日本カバディ協会 収支計算書数値目標(2021年4月～2024年3月)

収入の部			
科目	2021年度	2022年度	2023年度
1、会費収入	7,550,000	7,700,000	7,850,000
2、助成金収入	3,600,000	3,600,000	3,600,000
3、協賛金、寄附金等	2,400,000	5,000,000	3,000,000
4、大会参加料収入	1,600,000	1,900,000	2,200,000
5、普及活動収入	650,000	700,000	750,000
6、繰越金、その他収入	1,500,000	1,500,000	1,500,000
収入合計	17,300,000	20,400,000	18,900,000

支出の部

科目	2021年度	2022年度	2023年度
1、事業費	8,800,000	11,600,000	9,800,000
強化費	5,500,000	8,000,000	6,000,000
普及活動費	650,000	700,000	700,000
広告宣伝費	400,000	500,000	500,000
競技会事業費	1,900,000	2,000,000	2,200,000
その他事業費	350,000	400,000	400,000
2、管理費	7,500,000	8,000,000	8,000,000
支出合計	16,300,000	19,600,000	17,800,000

期末残高(繰越金)	1,000,000	800,000	1,100,000
------------------	------------------	----------------	------------------

※2022年はアジア競技大会開催年度のため、多くの寄附金を募り強化費を確保する。